

一般質問

■コミュニティセンターの耐震化

■コミュニティセンターの耐震化を！

徳田議員 各コミュニティセンターは自然災害時には第一次避難場所となっているケースがある。また災害の種類を問わず、地域住民が避難してこくことも予想される。市内のコミュニティセンターの耐震化状況はどのようなになっているのか。また、避難時には老人も多く、トイレを洋式化にはどうするか。

不嶋市長 コミュニティセンターが22館あるなかで、耐震化がなされていないのが、徳田地区と中島地区の鉦打分館である。徳田地区コミュニティセンターについては、平成27年度に行った耐震性能調査によると、全部ではないが一部が耐震化されていないということで、耐震化が必要となる。今後改修内容をしっかりと地域の皆さんと相談しながら進めていきたい。鉦打分館については、地元と協議を進めているところである。トイレの様式化については、活動拠点としている地域づくり協議会としっかりと協議をしながら、前向きに対応していきたいと考えている。

【その他の質問項目】
■災害に対する水道管
■インシシ被害

■老朽管対応
■通学路



徳田 正則 議員
(新政会)



徳田地区コミュニティセンター

予算常任委員会

◆委員長／永崎 陽 / 垣内武司
◆委員／荒川議長を除く全議員

委員会付託

・議案10件 ・報告1件 (議決不要)

主な審議内容

平成30年度七尾市一般会計予算 ◆生活保護制度について

- ①当初予算で生活保護費を利用している扶助費について、受給者の減少が予想されているが、その根拠は何か。
- ②平成29年3月末時点で、保護を受けているのが142世帯150人、平成30年1月時点では131世帯140人と減少している。生活扶助、住宅扶助、医療扶助とそれぞれの扶助費から積算している。その中の、生活扶助費で平成28年度末128人のところ、平成30年1月末では110人と減少している。この実績から平成30年度は112人延べ1,344人を見込んだ。その他の扶助費についても、昨年度の予算よりも減少している状況。

平成30年度七尾市一般会計予算 ◆就学支援制度について

- ①就学援助制度の周知について、どのように行っているのか。
- ②4月下旬に学校から保護者に対して制度の関係書類を配布している。新入学準備費については、10月から11月にかけて就学時健康診断の結果と併せて制度の関係書類を配布している。その他、市外からの転入手続きについても、教育委員会の窓口において、制度のお知らせをしており、市のホームページでもお知らせしている。
- ③就学支援制度の1人当たりの支給額が57,474円で、県内で17番目に低い。その要因は何か。
- ④七尾市の基準額が国の基準額より低いことが要因である。平成30年度の当初予算からは、就学援助の支給単価を国の単価に合わせ、87,228円とした。



通学する児童たち

平成30年度七尾市一般会計予算

◆三世代家族住宅リフォーム奨励事業費について

- ①三世代家族が同居及び結婚を機に親と同居する世帯の住宅改修に対する助成で、100万円以上の増改築改修をした場合に1件につき50万円を助成するものであるが、これまでに助成を受けたものは何件あるのか。
- ②今年度は3件分が完了し奨励金を交付している。現在は2件分が施工中であり、今年度中に助成するかどうか、完成の状況を見極めて対応したい。
- ③三世代家族の同居というのは、最近では少なくなっているが、この制度の周知をどのようにしているのか。
- ④市の広報やホームページに掲載している。また、町会連合会の集まりのなかで、制度の説明をした。その他、住宅メーカー、住宅関連会社、建築士会にも情報提供をして、制度の活用を行っているところ。

平成30年度七尾市一般会計予算

◆6次産業化推進事業費について

- ①今年度は支援する予定は何件か。事業費を超える申し込みがあった場合は増額する予定はあるのか。
- ②平成24年度からこの制度を設けており、平成30年度には2件の採択を予定している。事業費を超える申し込みがあった場合は、審査した結果、良い案件であれば予算増額して対応する。
- ③これまでどれだけの申請があって利用したのか。
- ④平成24年度から開始したこの制度で19件が採択され、農業や漁業に関するものなど地元のものを活用した6次産業化の取り組みが行われている。今後もPRをしっかりとって、石川県産業創出機構やのと七尾6次産業化支援機構などと連携して、6次産業化に取り組む事業者の掘り起こしや支援を行ってみたい。